

令和2年度 学校に関するアンケート 集計結果

回収率： 98%

(小学部教員)

(昨年度98%)

回答中ABを「肯定的な意見」、CDを「否定的な意見」として、「肯定的な意見」が90%以上の項目には「◎」を記載。また、「肯定的な意見」が、前年度と比べて5%以上の増減がある場合は「↑」「↓」で記載しています。

※小数点以下を四捨五入した数値の表示のため、合計数値が100%になっていない項目があります。

	項目	90%以上 ◎	5%以上 増減 ↑↓	肯定的		否定的		E: わからない、 無答
				A: よくあてはまる	B: あてはまる	C: あまりあてはまらない	D: まったくあてはまらない	
1	学校の教育活動や教育計画の作成にあたって、教職員で話し合っている。			25%	65%	11%	0%	0%
2	教育課程の編成にあたって、学習指導要領の趣旨が生かされている。		↑	12%	68%	11%	0%	9%
3	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。		↑	16%	67%	11%	0%	7%
4	学校は、教育活動全般について、児童生徒や保護者の願いによく応えている。	◎		23%	70%	4%	0%	4%
5	児童生徒の実態を踏まえ、個別の指導内容・指導方法について工夫・改善を行っている。	◎	↓	32%	61%	5%	0%	2%
6	教職員はカウンセリングマインド※を取り入れた生活指導を行っている。（※相手の立場に立って、その人の考えや行動を共感的に理解しようとする態度のこと。）			16%	68%	12%	2%	2%
7	児童生徒一人ひとりが興味・関心、適正に応じて進路選択できるよう、発達段階や実態に応じた指導を行っている。			21%	67%	7%	2%	4%
8	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。			9%	54%	9%	2%	26%
9	体罰等の防止をはじめ、すべての教育活動において、人権尊重の姿勢に基づいた支援・指導が行われている。		↑	12%	70%	9%	2%	7%
10	教職員間で授業見学をし、授業方法等について検討する機会がある。			4%	56%	33%	2%	5%
11	教育相談体制が整備されており、児童生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。			9%	49%	18%	2%	23%
12	学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	◎		16%	77%	2%	0%	5%
13	教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、学校経営に教職員の意向が反映されている。			2%	61%	21%	2%	14%
14	コンピュータ等のICT機器が各教科の授業などで活用されている。			26%	58%	9%	0%	7%
15	この学校では、児童生徒の教育環境が整備され、施設・設備の拡充が見通しをもって計画されている。			4%	37%	40%	5%	14%
16	初任者等、経験の少ない教職員が成長していけるよう校内研修等、工夫がされている。		↑	9%	65%	14%	4%	9%
17	研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。		↓	7%	54%	23%	2%	14%
18	教育活動に必要な情報について、保護者や地域への周知に努めている。		↓	9%	54%	11%	0%	26%
19	情報提供の手段として、学校ホームページや緊急連絡システム(メール配信サービス)が活用されている。	◎		51%	44%	0%	0%	5%
20	教職員はPTA活動に協力し、参加している。		↓	5%	54%	12%	0%	28%
21	個別の指導計画、個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成している。	◎		46%	47%	0%	0%	7%
22	個別の指導計画、個別の教育支援計画は、保護者に開示し、説明している。	◎	↓	58%	33%	0%	0%	9%
23	「食に関する指導の全体指導計画」に基づき、給食時間や各教科等の授業において食に関する指導を行っている。		↑	18%	68%	5%	2%	7%